

## 令和4年度 第4回西伊豆町立文教施設等整備委員会会議録

- 1 日 時 令和4年10月31日（月） 19:00～20:30
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館（安良里） 3階多目的ホール
- 3 出席者  
委 員 高井廣、藤井文憲、森元久、浅賀丈吉、窪田いづみ、花田麻莉子  
中平阿美、鈴木道、金刺和子、藤井節子、藤井定男、須田理栄子  
渡邊篤之、松本文貴  
事務局 鈴木教育長、真野事務局長、朝倉通彰、佐野正和、山本みち代  
齋藤英知、浅賀重樹

局 長

皆さんこんばんは。本日はお忙しい中、ご出席くださいますと誠にありがとうございます。ただ今から、令和4年度第4回の西伊豆町立文教施設等整備委員会を開催いたします。始めに委員長より挨拶をお願いします。

委員長

こんばんは。ご苦労さんです。第4回目の委員会でございます。いろいろな質問ご意見等が多く出されていまして。今日も皆さんにご意見ご質問等をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

局 長

ありがとうございました。続きまして、教育長より挨拶をお願いします。

教育長

皆さん、こんばんは。朝夕と寒くなってきましたけれども、常時マスクをしているので、かえってそれが暖かいかなという季節になってきました。今日は9月27日に町長より本委員会に諮問いたしました。総合認定こども園及び西伊豆町立小中一貫校の建設地を仁科の先川地区にする方針について、皆様のご意見をいただき、この委員会としての答申をいただきたいと思いますので、この後ご審議のほど、よろしくお願いします。

局 長

ありがとうございました。続きまして、次第の4の議題に入ります。進行につきまして、委員会規則第5条第3項の規定によりまして、「委員長は会務を総理し」とありますので、会議の進行をお願いいたします。

委員長

それでは今日の議題（1）の「諮問に対する意見交換」という形で進めさせていただきます。先だって現地を見えるということで、私と2人の委員さん3人と、教育長と事務局長で行ってきました。またその点についていろいろ話があるかと思っておりますので、またお願いしたいと思います。それでは会の進行をさせていただきますけれど、委員会規則第6条第2項の規定により、委

員会は委員の過半数の出席が必要となります。本日は、委員 15 人中 14 人の出席により、本会議は成立していることとご報告いたします。それでは議題に入ります。議題（１）、諮問に対する意見交換ですが、各委員さんから順番に意見をお伺いしたいと思います。まずは町の方針に対して、「妥当」か「妥当ではない」かをお願いします。それぞれ理由がございましたら、発言をお願いします。

#### 委 員

始める前に、いいですか。この間変な知らないおじさんが紙を持って来たんです。どういう人ですか。それで今日この会を開催するのを知っていて、どういう人ですか。

以下、多くの委員の方々からも同様の情報が提供された。（内容は省略）

#### 委員長

それでは、「妥当」か「妥当ではない」かをお願いします。その後それぞれ理由がございましたら、ご発言をお願いしますということで、これから進めてもらいたいと思います。（妥当、妥当ではない）いずれにしてもどういうことで反対なのか、どういうことで賛成なのか、それぞれご発言をしていただければありがたいです。そうしたところで今から始めますのでよろしくお願いします。それぞれご意見を出していただきたいと思います。質問でも構いませんからよろしくお願いします。最終的に多数決で賛否を取りますのでお願いします。

#### 委 員

まず、前段階として１つ伺いたいのは、町有施設を今後改修とか建て替えとか必要なところはあるのかという１つ疑問がありまして。だからそこにある程度お金が掛かるという見通しがあるのかなというのをちょっとお聞きしたいと思いました。今すぐのコメントは無理かもしれませんが、私が考えるには、「先川案は妥当である」と考えます。子供の安全とか通学がしやすい距離感を考えると、やっぱり仁科が１番ではないかと考えました。このチラシもそうですけれど、お金のことが非常に問題視されていますので、計画案よりもたぶんお金がもうちょっと掛かるのではないかなという見通しも、皆さんはきっとお持ちかと思いますので、その対応策としてふるさと納税とか企業版ふるさと納税が増額するような方策を、町としても我々としても何か知恵を絞っていければいいかなと考えました。それと建てた施設が防災の拠点となるとか、「高齢者も将来的には使えるようになるんだよ」というようなところももっとPRした方が良くと思います。C案の宇久須案ですと既存施設の改修なのでそれがどれだけこの先もつかかわらないということと、学校生活と並行して工事を行うようになるので、安全面とかその他の面で心配の点があります。それ

と農地を宅地に変更する手続きをこれからしていくことになろうかと思うんですけれども、スムーズにいくように私たちも何かできることがあるのかなっていうのを一緒に考えていければなと思いました。最後に「文教施設だより」とかお知らせも回覧で回ってきているんですけれども、私も今まで目にしていたかと思うんですが、この委員になるまでは心に留まっていなかったというか、目にしても通り過ぎてしまったような印象ですので、広報紙の中に入れ込むとかそういうふうにして全部に配布されるような形にするのが良いのではないかなと思いました。以上です。

委員長

質問に対して答える。

事務局

町有施設の改修については、公共施設総合管理計画というのがありまして、総務課の方で担当しているんですけれども、それぞれ担当課で持っている施設を「何年度にこのような改修をしていしましょう」のような計画を立ててあります。その計画の下に「個別施設計画」というのがあるので、この施設は何年度に改修していましょう」というような計画が立ててあります。その予測の金額を前回の委員会で説明した公共施設総合管理基金といった基金に積み立てをして、そのお金をその施設にあてていくという計画を立てているということでございますので、当然今後改修する施設というのは計画的に出てくるというふうに考えております。

委員

それを見通した財布の出し入れになっていますよということですね。

事務局

そのとおりです。

委員長

よろしいですか。

単純な質問をするけれども、例えば先川案の数字が出ているよね。私が質問されたのは、「60億もかけるのか。町のお金が無くなるんじゃないか」という質問です。私も答えようかと思ってよしただけけれども、「それには補助金が半分入りますよ」という、そのことがあまり理解されていない。60億をそのまま西伊豆町が支払う。そのことも町民には伝わっていない。60億が先行しちゃっている。そういったところもちょっと気をつけた方がいい。そういう説明をして。

局長

前回財源内訳と町のシミュレーションを委員の皆様にご説明させていただきましたので、そういったことを町民の方々にも広報等を利用しながら、周知していければと思っております。（財政につきましては）一番心配されていると

ころだと思しますので、そこは並行してやっていきたいと思っております。

## 委員

私は、先川に文教施設を建てることに賛成します。理由は、先川地区以外の場所を、私たち保護者、かつては賛成の方の「有志の会」というのを立ち上げさせてもらったときに、数名保護者が集まって教育委員会の方だったり、議員の方と情報交換したり意見交換してきて、先川以外の候補地も自分たちで探したりして、それを教育委員会の方々にお示しさせていただいて、「安全」か「安全ではない」か、そういったことも何回か話し合いの中で、私たち自身では集められない情報を教育委員会の方々に協力していただいて、消去法ということではないですけど、「ここはどうか、あそこはどうか」という提案をしながら先川に拘らずにいろんな場所を探してきましたけれども、やっぱり西伊豆町は目の前が海で、背は山なので 100%安全な場所というのはほぼ無いに等しい中で、ここでの説明も受け今までも個別に「先川も浸水想定区域ではないか」とか、「ここはどうなっているのか」ということも、賛成ではあるけれども安全性を 1 番に考えた上での疑問とか質問とか意見とかも再三してきました。その中でやっぱり先川以外に適した土地が他にはないと、先川が適していると私は思っています。個人的には小山教授の「防災まち歩き」等々にも参加させていただいて、先川地区も一緒に小山教授と歩きました。子供たちもそこにいたんですけども、内容的には少し難しいところもありましたけれども、先川の候補地周辺も一緒に歩かせていただいて、確認をしました。それ以外にも仁科地区、先川に文教施設があるということは近くに消防だったり緊急時に何かあったときには出動時間も短くて済むということも保護者からの意見もありましたし、総合的に適している土地だと私は思いました。ただ、60 億というのも一時期保護者の中からすごい質問が出て、「高すぎる」という、60 億円という金額が独り歩きして大変混乱するときもあったんですけども、そのときにもしっかりと細かい説明をしていただいたので、その都度そこで保護者は解決して納得していただいて、解決したということがあるんですけど、やっぱりその他の住民の方に周知されていないということも、私は直接町長にもお話して、「広報に載せたらどうか」という提案をさせてもらって、その当時に広報にたぶん載りましたよね。載せていただいて、なるべく「60 億円掛かる」というわけではなくて、実際に「町への補助金はいくらなんだよ」というわかりやすい説明をしてほしいということのお願いをその都度していききました。なので保護者はみんな大体「先川で」というふうに賛成はしていますけれど、周辺の住民の方々も反対する理由とか意見もわかりますので、なるべく子供たちが最終的に決まった先川に通うことになったときに、肩身の狭い思いをして通うのではなくて、やっぱり「よく来たね」と言われるように周りの住民の方たちとその他の地域住民の方に歓迎されるような形で学校に通

えるようにしてほしいなっています。以上です。

#### 委 員

私としては、今時点だとちょっと先川は反対なんですけれども。というのは、まず先川地区の建設予定地には、大事な水源の井戸がありまして、基礎工事等で地下水が汚染される可能性がある。セメント杭の場合には、セメントミルクを使うんですけれども、発がん性があるとかなんかいろいろ言われてますので、その辺は非常に心配しているところです。また、先ほどから財政の問題も出てきましたけれども、今文教施設だけではなくてこれから焼却場の広域化、これも何 10 億掛かるか、20 億掛かるか、30 億掛かるかわかりませんが、それからあと斎場建設とかもありまして、これが2億だか5億だか、かなりの負担が大きいものになるんじゃないかなあ。今まで説明を受けた中で、津波や水害なんかみても、水害なんかもう認定こども園だと水没しちゃいますよね。だから、その辺を考えるとまだ宇久須にある今の小中を利用した方が安心安全で、利用できるんじゃないかと思っています。それで財政の件については、この間も説明がありましたけれども、あれだとまだはっきりわからなくて、今度町政懇談会とかそういう機会を設けて、もっと住民の方が誰でもわかるような説明の仕方で、尚且つ焼却場の広域化、後は斎場とかその辺なんかをわかるようにこの表の中に入れて、こうなりますというのをもっと説明してからでないとなかなか判断するのは難しいのではないかと私は思っています。以上です。

#### 委 員（欠席のため事務局長代読）

現場を見た感想と海拔のことなどを考えると先川の場所が安全であるかとも不安に感じます。医療などのセカンドオピニオンが普通になったように、静大の小山先生だけでなく、この事業をまったく知らない第3者の専門家にもう1度「我が町のどこが安全か」を見ていただきたい。水の問題も不安です。何故そのような問題がある場所に施設を作らなければならないのか疑問です。またその問題の解決のために、予算以上の金額が掛かるのでは。さらに日本全体で少子化が進む中、今後この町でも子供の数が増えることは考えられません。したがってこのような大規模な施設を建てる必要性を感じられません。もっと小規模な施設でも良いのでは。1度建物を建てると30年以上使うことに。30年後を見越すなら、今から松崎町や松崎高校をどうするかなど、先の話し合いをしてから計画を立てても良いのでは。以上のことから、今慌てて先川に施設を作らず、改めて10年、20年、30年後の西伊豆の子供たちのことを思って、計画を立ててほしいと思いました。

#### 委 員

少子化で子供たちが少ない中で、教育を受けるというのはやっぱり問題があるかと思ひまして。できるだけ早く統合して多くの仲間と、いろいろな人間と触れ合いながら教育を受ける、そういうことが必要だとは思っております。だ

けど実際に先川地区を考えた場合、町や教育委員会の皆様が最良の場所だと思っていることで提案がされておりますけれど、今まで3回の説明とか質問に対しての答え等を聞きまして、私なりにあそこへ建てた場合に、質問にも出しましたけれど、農業をやる人たちへの影響、それから大雨が降ったときの水の状況等を考えますと、実際にできてから大雨が降ってみないとわかりませんけれど、かなり心配されることがあると思います。それから、お金の面ですけれども、国からの補助金とかが出て、62億はかからないという説明を受けて何年後までは大丈夫だと説明を受けましたけれども、ふるさと納税も減ってくるんじゃないかと思ひますし、人口も減って税金の方も少なくなることは予想されると思ひます。そのように考えますと、できるだけお金はあっても貯めておくというんですか、そういうことが必要ではないかと思ひます。そのようなことで、町とか教育委員会の皆様が最適な場所という提案ですので、まあ反対するのは。今の段階では、先ほどの委員の方が話をしましたように、町民に対する説明ですね、それがまだ十分ではないんじゃないかなと思ひています。私は近所の人とかいろいろな人とこの問題について話をしていますけれど、「もっといい場所があるんじゃないか」とか「旧西伊豆中の山に入るところを買ってそこへ建てたらどうか」とかいろいろな意見もあるし、「現在宇久須に通っているのだから宇久須は使えるから使った方がいいんじゃないか」とかという意見もいろいろあります。そのようなことで私たち15人で決めるというのも、実際決めなければならないんですけれども、答申しなければならないんですけれども、今の時点ではちょっと反対の方になっていますのでよろしく願ひいたします。

委員

僕自身は賛成です。よく言われるのが、先ほどから言われてますけれど「60億も使って大丈夫なのか」ということです。1番よく聞かれます。子供が少ないので、自分も小学校に子供がいるんですけれども、「子供が少ないから可哀そうだな」よく思ひます。ですから統合するのは賛成です。

委員長

「先川案で賛成」ということでいいですね。

委員

はい。

委員

皆様の意見を聞いて非常に迷っているんです。やはり、私たちの周りでは子供がいる方は結構関心はあると思うんですが、子供がいない一般の方たちの関心は非常に薄いと思ひます。ただ一部の方たちはビラを配布したりしてますのでね。委員の方に負担がちょっとかかっているのかなと思ひております。それについて、委員の方々が言うように、町民の方への説明が足りないんじゃない

かと。もう少し詳しく説明してもいいんじゃないかと。仁科地区に作ることの意味、学校の方とプラス防災の関係、避難所の関係で作りたいという意見がありますが、防災の関係というのは一般の方たちにはあまり伝わっていないのかなと思っているんです。もう少し議論をやって、農地の問題、水の問題、これも非常に大事でおそろかにできないと思いますので。ちょっと今賛成したらいいのか反対したらいいのかという、非常に微妙な形で皆様に意見を聞いているところです。だから最終的に何が言いたいかというと、もう少し町の人たちに「60 億も掛からないよ。(建設には) 60 億掛かるんだけどこういう補助金とかなんかあって、もっと安くなる」とかね。ふるさと納税も今のところは調子が良いと思いますけれど、今年なんかみると海の伊勢海老なんかも捕れなくて非常に高くなっている。干物も十分に作れないじゃないかという話もありますので、もうちょっと私はどっちかな。できればちょっと考えてみたい。もう少し考える時間が欲しいなと思っているのが現状です。以上です。

委員長

基本的に「先川案は反対ですよ」って言いたい。

委 員

ううん。

委員長

どっちですか。

委 員

無しでも子供たち可哀そうですからね。「賛成になるのか、ならざるのを得不いのかな」と思っております。

委員長

賛成するには今言ったようなことを、「説明をちゃんとする」とかということ。わかりました。

委 員

私は、賛成です。なかなかベストな場所というのは難しいと思います。いろいろな説明を聞いて、今町内では先川の候補地が最適だと私は感じます。財政シミュレーションを聞いて、「西伊豆町は大丈夫じゃないかな」という印象を受けました。私たちは小さな子供の命を預かっています。安全、安心な場所に統合園を早く建設されることを望みます。以上です。

委員長

ありがとうございます。

委 員

私は賛成です。いろいろ財政のこととか町民に情報が伝わり切っていない。いろいろ載せたり説明会を開いても興味のない人はなかなか届きにくいということがあって、町としても非常に難しいところもあると思うんですけれども、

もし先川案で決定するとしたら、そういったことを近隣の住民の方、特にうちがある方もそうですし、農地を持っておられる方もそうですけれど、できるだけいろんな方の不安がなくなるように、町として説明を尽くしていただきたい。そして何か問題が起きた場合には、一生懸命解決、対応するという約束をしていただけるだけでも、住民の方の気持ちも変わってくると思うんで、ぜひそういう姿勢を見せていただけるようお願いしたいです。あと、私、子供が年中なんですけれども、本来の計画ですと1年生になったときには新しい建物ができる予定でした。それが今では早くて小4になるときです。子供たちはどんどん大きくなっていきますので、その間に津波の不安とかとそういうものを与えたまま生活していく、そういうのはやっぱり不安です。なので一刻も早く進めていただけるようお願いしたいです。以上です。

委員長

ありがとうございます。

委員

私も先川案に賛成です。今町の当局の方でこのようにいろいろ練った上で出ている案ですので、早くその方針を進めたいということであれば、今の先川案が妥当ではないかと感じます。他の委員の方々もおっしゃっていましたが、仁科地区には防災拠点がないとか、町民に対する説明等を含めて、そういう見解を進めるからには、その点についてももっと努力をしていただいて、説明をきちんとして納得していただけるような方針を、町がビジョンを持って方針を立てて、説明をしていけばいいのではないかなというふうに考えます。そここのところがあやふやになっているというか、はっきりとみんなに伝わるように出ていないのが問題となっているのではないかなあというふうに思います。あと、子供の動きを考えてもやはり先川地区が妥当ではないかなあというふうに自分は考えます。以上です。

委員

私も先川に建てることは賛成です。前に説明会で地質調査の方々が説明してくれたことが、「安全な場所なのだ」というので安心して聞いておりました。それから、やっぱりこれだけ子供が少なくなると競争とかがなくて、子供たちが、先ほどおっしゃいましたけれど、可哀そうもありますけれど、「外へ出たときにこういう競争がない子供たちがいきなり出て行って、競争に負けて帰ってくるじゃないかな」と、その心配がすごくあります。今の西伊豆中がある、昔の賀茂中なんですけれども、私宇久須出身なんですけれども、狩野川台風のときに上流の方の大久須川と宇久須川が合流したところが決壊しまして、だから今の西伊豆中があるところはものすごく荒れて、流木などがすごかったことがあります。その思いがあるものですから、校舎の北側にあんなに高い堤防があって、校舎よりも高い感じがするようなところで、子供たちをずっとあそこで勉強さ



せるというのはちょっと危ないんじゃないかな、そっちの方を心配します。それからもし先川に校舎を建てなかった場合、今の西伊豆中を利用した場合ですね、そうすると仁科の人たちは災害のときにどこに逃げるのか。それからまた建物を建てるとなったら、かえってお金が掛かるんじゃないかという懸念があります。それから先ほども何人かおっしゃっていましたが、「60 億、60 億」って私たちがいただいたチラシにも書いてありますけれど、このチラシをもらった人はみんな「60 億掛かってしまう」って、そっちの方を思って。「60 億は全部町のお金じゃないよ」ってことをもうちょっときちんと住民に説明しないと、皆さんは本当に「60 億掛かるからいらないよ」ってなっちゃうと思うんです。だから、中身を知らせるということは大事ななあと思います。それから今の西伊豆中を工事しながら子供が授業を受けるということは、危険にさらすということになり、子供たちがかわいそうだなあと思うし、その工事をする、人たちにとっても良くないと思うんですよ。だから、地質調査して「先川が安全だ」って言うなら、そちらの方に建てていただいて、将来的に松崎、合併はダメだったんですけど、もしかして松崎の学校が同じようなことを考えていて、将来子供が少なくなったら「西伊豆町のことを考えていいかな」って、もしかして思ってくれば、先川に建てれば宇久須の校舎を、もう 40 年くらい経っていると思うんですけども、それを直して使うよりは新しい学校で、松崎の学校の方が「一緒にさせてくれないかな」というのがあればいいなと思います。それから、大沢里の方から宇久須まで通学するというのは大変なことで、いくらスクールバスがあろうがなかろうが、来るのは大変だからやっぱり「中間点としたら今の先川くらいになるかなあ」って思いました。私は今のようない意見で賛成の方です。ありがとうございました。

委員長

ありがとうございました。

委員

私も先川地区に建設することに賛成します。そもそもこの委員会に入る前から、早くに現場とか人事の問題とかいろいろあって「理想と現実とは違うな」と思うんですけど、3 校の統合を早急に進めていただきたかったです。田子に住んでいるんですけど、息子の学年で田子小に入学するとしたら今の賀茂と田子の 1 年生の人数と同じように入学が 2 名ということで、1 学年 2 名になってしまう学年です。小中一貫校を建設するにあたって膨大なお金が掛かるということで、「少子化なのに 60 億掛けていいのか」とかそういう町民の声を聞きますけれども、1 番私が思うのは皆さんもおっしゃっていたように、防災機能を含めた複合施設であることをもう少しアピールして、具体的にどういう防災機能があるのかというのを説明していただきたいです。私も仕事で防災に関わることもやっているんですけども、会議に出席したり防災訓練とかに出席

することがあると、「他の町よりちょっと遅れているのかなあ。対策が取れているのかなあ」という不安があるので、もうちょっと「町民のための施設だ」ということについて具体的な説明をお願いしたいと思います。結論としては賛成です。

委員長

ありがとうございました。

委員

私も先川地区で賛成でございます。皆さんも言うておられますように、事務局の方が安全面で、津波の浸水区域ではないということで、安全面についてはもうしっかり説明をしてくれています。また今実際に宇久須地区で学校をやっているわけなんですけれども、生徒たちの体験等のことにつきましても、やはり松崎とかこちらの仁科地区の方に生徒が活動の拠点を持っているものですから、そういう学習面につきましても、やはり先川地区でスムーズにいった方がいいかなと考えます。あと、皆さんがおっしゃっていますけれども、町民の皆さん方に丁寧でわかりやすい説明が必要かなと考えております。以上です。

委員長

ありがとうございました。

委員

「少子化によって子供たちが減るのに、なんでこんな大金掛けるんだ」というような、いろんな意見も飛び交っております。またこの施設の建設に反対する人たちの圧力的なものがかかっている現状もありますけれども、8月ですか、先川地区の地質調査の結果が発表されました。それによりますと、「建設は概ね可能ですよ」という報告を受けておりましたけれども、その中の1点に、「先川浄水場に影響が出る。濁りが出る。浄水場の水量の変化が考えられる」というようなことを指摘されております。先川浄水場というのは町民の水瓶になっているわけございまして、決してそういうことがあってはならない。また一時でも、町民に不便、不安をお掛けするようなことは許されないようなこともありまして、そのようなことがないように徹底的な対策を講じていただきたいなあと考えておりますけれども。また一方で1日も早く子供たちにより良い環境施設を整備するということが必要であると思います。また一方で必ず起きるであろうと言われている南海トラフ巨大地震、こういったものに対する災害が発生したときに町民の生活の拠り所となる拠点というものは当然必要となってくると思います。皆さんもいろいろと考えておりますとおり、いろんな課題がありますけれど、概ね先川地区への建設は妥当だと考えております。以上です。

委員長

ありがとうございました。全体のご意見ご要望等を伺いました。これから賛

否を取らしてもらいますけれど、委員会規則がありまして、「委員会の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる」と、こういう規則があります。もし最終的に同数だった場合については、再度賛成か反対かというのは行いませんという規定がありますので、またよろしくお願いします。

委 員

皆さん言っているじゃないの。賛成か反対か。

委員長

全体の決を取らなければならないので。最終的に。それでは賛成の方は挙手をお願いします。はい、ありがとうございます。反対の方をお願いします。

多数賛成ということで結審されましたので、お願いします。

それでは、これから具体的に答申書を提出するという格好になりますけれど、答申書の内容について、どうしましょうか。今日皆さんにいろいろ要望とか、そういったものが沢山ありましたので、それを加味して答申の中に入れていきたいと思いますので。今日皆さんに出してもらいましたこれだから賛成ですよという答申書にいたしますので。もう 1 つ、反対のこういう意見もありました。このことも添えて町に提出したいなと思いますけれど、いかがですか。それでいいですか。

委 員

賛成の理由を載せるんですけども、先にそれぞれの皆さんの意見の中にある「賛成だけこういうことをやってもらいたい」、「こういうふうなことを気をつけてもらいたい」ということも載せていただけるということでもいいですか。

委員長

そうです。皆さんからいろいろ出ましたけれども、「説明が足りないのでは」と言ったところも、「このように説明をやってください」という答申の内容になるかなあと思うんですけどね。「お金がかかりすぎる」ということに対しても「ちゃんとした説明が足りないではないか」そういったところも、「全体の住民に説明会を開きなさい」というのは、その内容的なものになるんですけどもね。

委 員

わかりました。ありがとうございました。

委員長

それでは、答申書を作りましたら、皆さんにまた集まっていただきまして、「こういう答申書になります」ということを、お伺いしたいなと思いますので、これからのスケジュール等についてちょっと説明したいと思いますのでお願いします。

局 長

(2)の今後のスケジュールというところで、次回開催日を確認したいと思います。前回聞いたところで11月の7日、8日はダメだということだったので、できれば9日の水曜日に答申書をまとめたものをまずは提案して、それで皆さんにご確認いただきたいと思います。9日でよろしいでしょうか。

副委員長

9日はいません。

委員長

副委員長がいない。

局 長

副委員長には素案ができたなら事前に見ていただいて、意見があれば事前に意見をいただく形で、どうにか9日に進めさせていただければと思うんですが、どうでしょうか。

委員長

9日は。副委員長はちょっと用事があるということで、出席できないということですけど。この諮問については私と副委員長と事務局で、案を作ります。9日までに副委員長と協議しながら作っていきますので、よろしくお願いいたしますと思います。先に言っておりますように、スケジュールについては11月9日に開催ということでお願します。

これでよろしいですか。11月9日には町に出す素案を提出するということで。それでは、次の議題(3)のその他については全体を通して何か質問を受けますが。

委 員

賛成多数ということで、決まったみたいなんですけれども、あと水源の件で今回は水源にできる限り影響を及ぼさないようにということで、コンクリート杭を打つと思うんですけども、それを浅く打つと。浅く打って本数を増やすというやり方はどうでしょうね。本当に大地震が来ちゃったとき大丈夫でしょうね、硬い岩盤まで打たなくて。

事務局

杭についてなんですけれども、設計業者に確認を取っております。杭の長さが約22m、本数を増やすことで対策の方は大丈夫だと聞いております。実際費用については、若干高くなってしまう、本数が多くなる分事業費が高くなるかもしれませんが、それで十分安全性は取れるかと思っております。

委 員

本当は安全性を考えたら、硬い岩盤まで打ち込んだ方が1番いいですよ。尚且つ、コンクリート杭じゃなくて本当は鋼管杭を使って硬い岩盤まで打つというのがベターなんですけれども、それやると値段が4億ぐらいですかね。本

数増やさなければ3億6千万円くらいなんで、大体倍くらいになっちゃうんで。

事務局

当然コンクリート杭と鋼管杭を比較した場合、鋼管杭の方が費用は掛かってしましますが、安全性は確保できるのかと思うんですけれども。財政的なことも考慮して。当然「コンクリート杭でも十分大丈夫だろう」ということで、設計業者は結論付けています。

委員

ああ、そうですか。じゃあでっかい大地震が来ても大丈夫なんですね。せっかく建てなのに傾いたら困る。

事務局

そこは当然構造計算しながら進めていく話ですので、ダメなものを作るというのはまずありえないと思います。そういったことでご理解いただければ。

委員

セメント杭というのは、セメントミルクというのは有害性があるって、それは地下水に浸透しないようにちゃんとやってほしいなあとと思ったんで。

事務局

その辺も土質によって発がん性物質が発生すると言われているものでございます。酸性の土壌とセメントミルクが混ざったときに六価クロムというものが発生するというふうに伺っております。それについては当然地盤改良ですと事前にその土と混ぜたときに基準値以内に収まるかどうかという試験をやってからセメントミルクを決めていく、固化材を決めていくということになりますので、いきなり打つということではないと思いますので、試験をやってからということになろうかと思います。

委員

わかりました。絶対水問題を起こさないでもらいたいです。

委員長

ちなみに建物はどこに建てるかというのはだいたい決まってる。どこら辺に。

事務局

以前資料をお渡ししたかと思いますが、説明会でも提示させてもらったかと思うんですけれども、先川浄水場の近くについてはこども園が適しているんじゃないかということと。

委員

地質調査の際のものをを見ると、校舎を消防署の方へ建てる。

事務局

具体的な配置については決まっておりませんで、このあたりが適しているんじゃないかということです。

委 員

地質調査で見たあれは、こっちが校舎側、あと。

事務局

前回説明会のときもお話しさせてもらっているかと思いますが、先川浄水場の近くの方がこども園の検討用となっております。消防署の裏あたり、学校用地の検討と言いまして、2か所が「この辺りがいいんじゃないか」ということで示させてもらっています。

委 員

この時期なのに、まだわからない、校舎の位置。校舎は消防署側で、あとグラウンド。

委員長

基本的に浄水場の水源のこの所に杭を打たれると心配だよというのがあるから、そちらには校舎は建てない。杭は打たない。浄水場の方は杭を打たないと。もっと川沿い、消防署の方は校舎が建つからそこに杭を打つってということ。

事務局

こども園の検討用地については、杭は打たない予定ではいます。

委員長

小中の大きな（建物の）方は（杭を）打つけれども、浄水場の方は打たない。

事務局

杭打ち工事を行わない予定ではおります。

委 員

でも、左側の方へ井戸があると聞いているんですけど。下流の方へ。

事務局

委員がおっしゃっているのは消防署の裏のあたりのことですかね。

委 員

もうちょっと下の方なんですけれどね。

事務局

消防署の裏あたりに第4水源という水源があります。今こども園検討用地側というのは、水源への影響というのもありますし、今の地質調査の状況でしたら、杭を打たないで地盤改良というもので対応できるんじゃないかというような想定です。

委 員

地盤改良もちょっと問題なんだけれども、でも2mくらい掘り下げてやるから大丈夫じゃないかということなんですけれどね。

事務局

消防署も同じ柱状改良というもので改良します。現地の土とセメントミルクを混ぜて柱状のコンクリートみたいなものに置き換えてその上に建物を建て

ている。そのときにも第4水源には影響はなかったというふうには聞いております。

委 員

消防署も結構杭打っているんですか。

事務局

杭ではなくて同じように土壌改良しています。

委 員

土壌改良。わかりました。

委員長

その他いかがですか。

委 員

ちょっと確認したいんですけど、認定こども園と小中一貫校の建設予定の階数、何階建てにするのかもう1回教えてほしいのですけど。これを見る限りだと、いつかの説明で、例えば津波が何10 cmか来ました。もしこども園の高さで小中一貫校の方に逃げるとかみたいな話がちらっとあったんですけども、校舎がこうやって離れていると、こども園はこども園で独立した状態で子供の安全を必ず確保していただきたいんですね。私も何回か、幼稚園保育園のところに一緒に小さい子を抱っこして裏山まで逃げたときがあったので、一緒にやりましたけれど、泣きじゃくる子供をどうにか大人が何人もの子供を連れて近距離であっても移動するということは、東日本大震災の小学生と中学生を、パニックを起こして泣きじゃくって収拾がつかない中で、移動は無理なのでなるべく認定こども園はこども園で自力で逃げられない子供たちに関しては、津波の高さを考慮した状態でそこで何とかしのげる階にしていいただきたいんですけど。予定だと、何階建てになるのか今わかりますか。予定。

事務局

基本的には2階建てを想定していたんですけど、今委員がおっしゃったようなこともありますので、その上の階に逃げるような施設を建てるだとかその辺は当然事業費のお話と周辺農業者の方だとか周辺に住んでいる方だとか、そういった方と当然協議をしながら、最終的には決定していく必要があるのかなあというふうに考えております。

委 員

小中一貫校の方は、4階建て。

事務局

基本的には3階建て。

委 員

3階建て。

事務局

1部4階建てになるかもしれません。それは当然どこまでの広さでやっていくか、配置計画を立てていかないと何とも言えないです。すべて総4階建てとなると、お金もあるし面積としてもちょっと大きくなっちゃうのかなあと言うこともありますので、その辺は当然小中一貫校の中で「特別教室を低学年と高学年でどうやってやれば部屋数を減らせるか」といったところも検討していく必要があると思っていますので、そういうものを含めて考えていきたいと思っています。

委員

ただ、「防災機能を備える」と言って住民に説明する場合、近隣の住民の方が長期的とか短期もそうですけれど、来られたときに十分な広さだったりとかそういうものがなかったら、例えばこの前説明のときに「1階に浸水した場合には3階に逃げなさい」と、「2階まで浸水したら4階に逃げなさい」という話があったので、今の浸水の高さから言うところまでは来ないのかもしれないですけれども、それを考えると個人的にですけれど、ちょっと心配、3階だと。

1部4階だということですが、私としては「ある程度お金がかかっても、安全で長期的にみてしっかりした建物がいい」という私の勝手な希望ですけれども。なので想定外のものが来る可能性もあるのかもしれないので、「ある程度のここに来る想定の高さにプラス安全性を備えた高さにしてほしいなあ」という勝手な要望ですが、1部4階にするかも。

事務局

まだ全然未定ですが、これがまた独り歩きしていくとまた困っちゃうんで。

委員

はい、わかりました。ありがとうございます。

委員

もうちょっと何か出してもらえれば。大体この辺に校舎を建てて、こども園はこの辺に建ちます。こども園のグラウンドはこの辺でとか。

委員

浸水域に達するぐらいのところはグラウンドにしようかということになってるんですよね。

事務局

まだ明確に決まっているわけじゃないんで、何とも言えないですが、地質調査の結果は下流側の方が悪いです。ですので下流側がグラウンドっていう方がいいんじゃないかというふうに思っています。

委員長

基本的に説明、これも「考え」っていうか、よくわかんないよって言うわね



え。そういうところがはっきりしないと、今みたいな質問が出てくるわけでね。もう1つは、「防災機能をもたせる」とかなんて言う話も出てくるわけだよね。そういったところも最近出た「説明会をちゃんと開いてくれ」というところから出てくるんじゃないかなと思うんですけどもね。

その他ありませんか。それでは無いようですので、先ほど日程が決まりました11月9日にまた集まってもらって、答申案を準備してもらおうということで。その前に先ほど言いましたように、副委員長と私と教育委員会の方で案を作りますので、提示をしたいと思います。それが良かれとなった場合には、町の方に答申案として正式に提出をしますのでよろしくお願いしたいと思います。それでは、先ほどから何回も言いますが、11月9日に開催ということでよろしく確認の方をお願いします。以上で本日の議題は終わりました。

局 長

長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。それでは閉会を副委員長様にお願いしたいと思います。

副委員長

長時間にわたりご審議ありがとうございました。4回の会議で皆さんのご意見を聞きまして、やっと答申する段階になりました。今委員長の報告のとおり、答申案を作成しまして、改めて中身を整理しご理解を得ていきたいと思います。よろしくお願いします。それでは、以上をもちまして、今晚の委員会を閉会とします。お疲れさまでした。